

分身ロボット「OriHime」を活用し 特別支援学校の生徒がカフェで職業体験を行います

特別支援学校の生徒が自宅から分身ロボット「OriHime」を遠隔操作し、群馬県庁の YAMATOYA COFFEE32 で職業体験を行います。

今回 OriHime を操作するのは、高崎特別支援学校の高等部に通う2年生の生徒1名です。当生徒は病気のため手を使った作業や発声が困難です。そのため操作は目の動きによる視線入力で行い、予め設定した言葉や動きを選択することで OriHime を動かします。OriHime が生徒の分身となり、お客様をお出迎えます。

1. 実施日

令和4年2月17日(木) 12:00 から 12:30

2. 実施場所

群馬県庁 32階 YAMATOYA COFFEE32

3. 実施内容

分身ロボット「OriHime」による、レジでの接客（挨拶）

4. 実施校

群馬県立高崎特別支援学校

～分身ロボット「OriHime」について～

OriHime（オリヒメ）は、環境や障害などによる移動の制約を克服し、「その場にいる」ようなコミュニケーションを実現するロボットです。

OriHime にはカメラ・マイク・スピーカーが搭載されており、インターネットを通して操作します。周囲を見回したり、聞こえてくる会話にリアクションをするなど、あたかも「その人がその場にいる」ようなコミュニケーションが可能となります。

※分身ロボット「OriHime」は、株式会社オリィ研究所の登録商標です。



株式会社オリィ研究所提供